

発行責任者 東京都立向丘高等学校同窓会  
 会 長 宮 久 保 渡  
 編 集 会 報 委 員 会  
 事 務 局 〒113-0023  
 東京都文京区向丘 1-11-18 向丘高校内  
 T E L 03-3811-2022  
 F A X 03-3812-4055



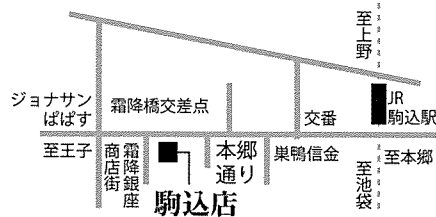
旧古川庭園 (前会長 小川力洋氏撮影)

### 同窓会活動のご案内 (やよい会)

①同窓会総会  
 平成 27 年 4 月 26 日 (日)

受 付 11:30 ~  
 開 始 12:00  
 会務・会計等の報告・審議  
 懇親会 12:30 ~ 15:00  
 場 所 駒込「磯太郎」  
 北区西ヶ原 1-55-27

T E L 03-5394-0511  
 会 費 ¥2,000 円 (他会補助)  
 申込方法 同封の振込用紙にて、  
 4 月 14 日 (火) まで  
 にお振り込み下さい。



②全国大会  
 やよい会 山梨県甲府市大会  
 平成 27 年 5 月 24 日 (日)

時 間 11:30 ~ 14:00  
 場 所 すし処「魚保」  
 山梨県甲府市太田町 20-6  
 甲府駅前より徒歩 10 分  
 055-235-7099  
 会 費 ¥3,000 円 (他会補助)  
 申 込 同封の振込用紙で 5 月 12  
 方 法 日 (火) 必着にてお振り込  
 下さい。

③学校訪問 (ホームカミング)  
 平成 27 年 9 月 12 日 (土)  
 ~ 13 日 (日)  
 時間 9:00 ~ 15:00

母校向陵祭 (文化祭) 音楽・演劇  
 ・研究発表あり P T A 展示室にて同  
 窓会作品展示あり。一般会員の出展  
 歓迎 (要連絡。宮久保会長まで)

総合問合せ先

〒171-0032  
 東京都豊島区雑司が谷 3-14-5  
 東京都立向丘高等学校同窓会  
 会 長 宮久保 渡  
 F A X 03-3981-4554  
 メール miyakubo1405@yahoo.co.jp  
 ホームページ  
 東京都立向丘高等学校同窓会

ご挨拶

同窓会の発展と  
母校及び在校生の応援を！



同窓会会長  
宮久保 渡

一、はじめに

昭和四十五年卒の宮久保渡です。小川力洋前会長を始め、諸先輩のご協力を頂きながら会長就任四年目になりました。昨年に引き続き、同窓会財政の充実、名簿の整備、会報「やよい」の発行、校長先生をはじめ、学校の先生方及びPTAとの緊密な関係を目指してきました。

そして、とりわけ、母校及び在校生への応援を心掛けてきました。等々、従来の取り組みを踏まえて活動を展開してきました。昨年の卒業生ほぼ全員が加入して頂きました。先生方、保護者の皆様のご協力に感謝を申し上げます。しかしながら、課題もいくつかあり、この克服が必要と考えています。

- ① 総会への参加人数が少ない。
  - ② 役員と会員・会員同士の交流が会全体に反映されてない。
  - ③ 全体を網羅する幹事会体制の未整備
  - ④ 同窓会・同期会などの情報が会員に不徹底など。
- これらの改善を目的とし、併せて母校と在校生の応援を一層努力していきたいと考えています。

会員の皆様のご協力を心から願います。

二、総会・懇親会にご参加を

毎年、会報にて同窓会総会日を発表し事業報告・会計報告・次年度計画の審議などを行い、議事を決議しております。

今年も、学校ではなく、外の会場で総会を開催いたします。一般的なパーティ形式です。(お酒あり)

同期会・クラス会・クラブのOB会を開催したいと考えている皆様は、是非ご参加下さい。同窓会で応援を致します。多くの皆様が参加されますようお願いいたします。

また、全国大会・今年は、山梨県甲府市で開催致します。山梨県にお住まいの方は、こちらにもご参加下さい。

三、入会金・年会費の拝受

入会金に關しましては、一万有余の会員の皆様に、会報発行・発送をさせて頂いております。

年会費のご協力によりまして、会の運営が賄われています。貴重な財産として大切に、かつ有効に活用させて頂こうと感謝を申し上げ、尚一層のご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。

四、ホームページの充実及び会報「やよい」の全員配布の継続

二十五年度中に、同窓会独自のホームページを作成いたしました。また、まだ不十分ですが、「校歌」過去の会報紙「やよい」の掲載、また、思い出の写真集として卒業時のアルバムを掲載しました。これは、個人情報保護を保護する立場から「氏名の不掲載」「写真の大きさも本人が見て、かろうじて判る程度」など配慮してあります。皆様、卒業アルバムをお貸し頂きたいと思っております。(宮久保まで、送付願います) 今後、同窓会全体のもの、同期会・クラス会・クラブOB会サイトなど、会員相互の交流・親睦をはかるため作成委員会をつくり、充実を計画しています。こちらのほうについても、皆様のご協力をお願いいたします。

配布は、新入学生在校生も含め、卒業生全員に行っております。

同窓会総会報告

同窓会総会は、二十六年五月二十七日(日)十二時より、駒込駅近くの和食の店でパーティ形式を持って開催されました。

総会は、杉浦副会長の司会で開始し、宮久保会長挨拶、櫻井監事、仙谷幹事長の音頭による、校歌斉唱を経て、議事に入りました。議長は、規約に従い、宮久保会長がつとめ、①報告事項 ア、事業報告(笹山書記)イ、決算・監査報告(尾道会計) それぞれ満場一致で承認されました。引き続き、②審議事項 ア、事業計画(佐々木書記) イ、予算案(尾道会計) ウ、役員選任(宮久保会長) 新役員、他の方は留任を提案しました。それぞれの審議事項についても、満場一致で承認されました。

続いて、懇親会に入り、小川力洋名誉顧問より乾杯の発声をもって、和気あいあいの中で進行していきました。来賓として、杉淵明子副校長・高田敦子PTA会長、山口延利元PTA会長の臨席を戴き、それぞれ挨拶を戴きました。引き続き、各自の自己紹介と近況報告を戴きました。

参加された皆様、有難う御座います。今年も友人をお誘い参加されますことを願っております。(役員記)



26年4月27日 於駒込「磯太郎」

本郷・向丘文学散歩



校長 神能 精一

同窓会の皆様、平素より本校を応援... 宮久保同窓会長を始め同窓会役員の皆様方の温かいご支援に深く感謝いたします。

同窓生の皆さんもよく知っているように、本校をとり巻く環境は、夏目漱石、森鷗外など文豪の旧宅や文学史跡、著名な寺社も多く近代文学作品に出てくる地名に囲まれた「文京（ふみのみやこ）」地区にあります。

さて、私は晩秋の十一月二十三日（日）に湯島を昼ごろ出発して夕方五時に千駄木まで約五時間、本校近辺の文学史跡を歩き回りました。天候にも恵まれた温暖な散歩よりでした。

まず、湯島天神から不忍池、無縁坂を通って岩崎弥太郎の屋敷の土塀を眺めながら、龍岡門（鉄門）に至った。このコースは、森鷗外「雁」の岡田の散歩道である。東大の構内に入ると、

鷗外も師事した「近代日本文学の父」と称されたバルツの像がある。この像は、夏目漱石「三四郎」にも出てくる。三四郎といえは、この小説にちなんで通称となった心字池「三四郎池」も忘れてはならない。

赤門から出て、いったん本郷通りへ本郷三丁目交差点まで戻り、古川柳「本郷もかねやす」までは江戸の内、有名なかねやすの店の前を通って、春日通り沿いに石川啄木が二階に間借りしていた「喜之床」跡から本郷四丁目（旧真砂町、菊坂町周辺）界限を遡った。「小説神髓」「当世書生気質」をここで書いたという坪内逍遙旧宅跡、正岡子規も入舎していた常磐会跡から、宮澤賢治が七か月ほどの上京生活から宿していた旧宅跡、樋口一葉が下谷に

移るまで住んでいた菊坂町の旧宅跡を眺める。偶然にも、この日はちょうど一葉忌の十一月二十三日に当たっており、年に一度、樋口一葉がたびたび通った旧伊勢屋質店が特別に公開されているというので、三十分ほど並んで拝観。一〇〇年以上もたっている菊坂に面した「見世」蔵「座敷」などを見学させてもらい、明治の気分を味わった。

その後、文学者、俳優、外国の文化人などが多数宿泊し、宇野千代と尾崎士郎が同居したことでも有名な菊富士ホテル跡、啄木の住んだ赤心館跡、徳田秋聲旧宅跡、再び啄木の住んだ蓋平館別荘跡を眺める。再び本郷通りに戻り、東大農学部構内に立つ水戸光圀の藩学「水戸学」確立に功のあつた朱舜水終焉の地（旧水戸中屋敷）から、弥生一丁目、向丘一丁目間の道を抜けて、向丘二丁目、ちようど都文館の裏手、日本医大本部辺りにある森鷗外・夏目漱石旧宅跡の碑に立つと、なぜか日医大の塀の上に猫の彫刻がある。漱石はここに住んでいたころ「坊ちゃん」

「吾輩は猫である」などを発表した。千駄木に入り、団子坂に抜ける途中に鷗外記念館がある。ここは、鷗外が亡くなるまで住んだ「観潮楼」の跡地である。三〇〇円也の入館料を払い、展示室を出て宵闇の中、観潮楼正門跡である敷下通り入口から出ようとすると、入口正面建物の夜景が聳えていた。何とスカイツリーの夜景が聳えていた。

同窓生の皆様には、本校を起点とした逆コースもよいかと思えます。懐かしい母校を眺め、半日ほど本郷界限を文学散歩としゃれ込んでみませんか。こういう素晴らしい環境、向けての便利さもあつて、来年度では増える入試の志望率も現在の情報では増えており、高倍率となりそうです。今後とも、同窓生の皆さんや先生方とともにこの伝統ある向丘高校を名実ともに充実していきますので、ご協力、ご支援よろしくお願ひします。

誇りある伝統



副校長 杉淵 明子

向丘高校同窓会の皆様、平素より、様々な御支援、御協力をありがとうございます。心より感謝申し上げます。本誌「やよい」は同窓生の方々の途切れることのない思いを伝える貴重な会報です。懐かしく同級生のことを思い出したり、現在の母校を気にかけたりと毎年楽しみにしていらつしやる方も多くおられます。この会報を契機に母校を訪れたり、旧交を温めることがあれば幸いです。

東京都の教育も、都立高校もここ数年ほど大きく変わりました。本日もその波の中に身を置いていたことは間違いありませんが、伝統とは大きなもので、昔からの向丘高校の校風はずっと変わりません。すなわち「バイタリティ・自主性・明朗・賢さ」は、変わることもなく現在の生徒たちにも受け継がれています。

都立高校の中には、長い歴史を経て閉校した学校も、新しく生まれ変わった学校も数多くあります。本校が変わらぬ在校生の頑張り、同窓生の方々の活躍により、今もなお東京の真ん中に君臨していることを誇らしく思っています。

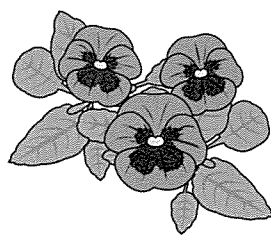
文京区の中学校も、生徒数の減少等により以前の十二校から十校になりました。文京二中と四中とが合併して本郷中に、五中と七中とが音羽中学校となりました。

私事ですが、母校である文京一中で今年四十年ぶりに同窓会を開くこととなり、その幹事が、文京区内に勤務している私を含めた三名と向丘高校の卒業生なのです。彼女も向丘時代をとっても懐かしく思い出さずして、持っており、ぜひ高校の同窓会も実現

したいと意欲をのぞかせていただきました。少しでもお役に立てることがあればと思います。今年度の文化祭にも、多くの卒業生の方にお越しいただきました。中には「向丘の明るい生徒の姿を見て、胸がいつぱいになった」とお声をかけてくださった方もいらつしやいました。誇らしい母校を次代に引き継いでいくために、生徒たちにも向丘生としての気骨、自信、実力を培っていききたいと気持ちを引き締めております。

高校生へのキャリア教育は、将来的な目標を定め、学習意欲を向上させるために重要で、本校では、毎年卒業生の方々に経験等をお話しいた、たき、生徒への助言をいただく講演会を実施しています。今年度も宮久保会長の推薦により粕谷氏にお越しいただきました。

朝日新聞記者時代の「夜討ち朝駆け」のお話や人脈の大切さ等、働くことの意味を講話いただき、在校生は熱心に聞き入っていました。大先輩のすばらしい功績や迫力に少々圧倒され気味だったので厚い人材力に毎年驚いています。おかげさまで、本校は進学実績も着実に伸び、入学志願者数も増加しています。今年度も屈指の人気校となつていくべき。今後本校の伝統を守り伝えていくべき。教職員一同尽力していく所存です。同窓生の皆様、今後とも御協力御支援等よろしくお願ひいたします。



三年間の感謝をこめて



前PTA会長

高田 敦子

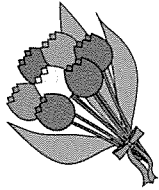
平成二十六年度PTA会長を務めさせて頂きました高田です。平成二十四年度より三年間向丘高校の保護者として同窓会の皆さまには子ども達へのご協力、本当に感謝いたしております。

私自身、地元ということもあり同窓会の皆さまの中には、私の実父の同級生(昭和十三年生まれの向丘卒業生)の方がいらしたり、ご近所の方が卒業生であつたりと私自身もまるで卒業生のように皆さまからお声をかけて頂き同窓会の方々の温かさを感じずにはいられませんでした。

先日行われた進路講話では卒業生の粕谷氏から貴重な体験談をお話頂きこれらを担っていく子ども達にこれからの人生を生き抜く姿勢をお話頂きました。今回初めて私もお話を聴かせて頂きました。子ども達がかういった貴重なお話を聴く機会のあること恥ずかしながら保護者はあまり知らずにいるかと思ひます。子ども達の中には今はまだあまり感じる事の出来なかつた子、今何かを感じとれた子それぞれだつたと思ひますが、先輩方のお話がこのからの人生のどこかにきつと役立つさういった貴重なお話を聴く機会がある向丘生は幸せだと感じました。

同窓会の皆さまから見て今の子ども達はきつと年齢より幼く感じられたり、反面知識の面では高度だつたりとアンバランスなところが多いかと思ひます。実際私も三人の息子それぞれの代の精神面では、少しずつ幼くなつてきているような気が

します。反面、知識面は最近のIT産業に代表されるように若者の起業など驚かされるほど高度になつてきていると思ひます。かういった世の中の流れの中、向丘生が個性を失わず運動部、文化部、さらには個人で怖がることなく外部の大会などにチャレンジしている子ども達が多くいる事をご存じでしょうか。昨年は高校総体のオープンングセレモニーでダンス部が他の高校と一緒に総体のシンボルマークを模したダンスを披露しました。(このダンス部は一昨年度は国体のオープンングセレモニーでも披露しました。)茶道部は秋に東京都主催の『東京大茶会』において浜離宮で高校生野点に参加、五年目となりました。軽音部も足立区の『あだちけいおんフェスタ』にゲスト出演、吹奏楽部の大会など書ききれないほどです。もちろん高校生ですので先生方のご協力があつてのさういった活動ですが、外部に向丘生として出る以上、きちんと挨拶が出来る、モラルが守れるなど各家庭の責任も問われるところです。そんなアンバランスな向丘の生徒たちを学校、保護者と一緒に世に送り出す手助けをして、下さる同窓会の皆さまには三年間本当に身近に見させて頂いて本当に感謝致しております。まだまだ増えていく向丘生にこれからもお力添え頂きますようお願い致します。ありがとうございます。



昭和47年卒同期会報告

日時：平成25年5月25日(土) 18時～  
場所：叶家越山市ヶ谷店

素敵なお挨拶を書いて下さった総合幹事の大原さんの呼びかけで、なんと63名の参加者が多いに盛り上がったご報告を致します。千円位の品をプレゼント交換して、途中で席替えもあつたりして、日頃なかなか会えない方々とたくさん話が出来ました。皆それなりの年齢になりましたが、それぞれ心に映る昔の姿がよみがえり、年齢を忘れた夜になりました。幹事の皆様お世話になりました。素敵な夜をありがとう！

昭和47年卒 佐々木郁子(旧姓遠野)



# 同窓会だより

## 三十年以上続く忘年会 軟式テニス部有志で

四十六年卒 大場 秋孝

右記、忘年会が今年も池袋で開催されました。

この会は、三十五年位前になくなられた、岡村さん（四十八年位前のテニス部の主将）を偲ぶ事で始められた会で、主なメンバーは六十代の中程で、若い人も五十代の後半です。

初めて参加された同窓会会長の宮久保さん、十年ぶりで参加された人もいます。半数の方が、いまでもテニス（硬式）を楽しんでいるみたいです。

それぞれ近況を報告し、酒がまわってきたところで、カラオケに移りました。皆さんカラオケが大好きで、自分で次から次へと入れ歌っていました。ただし、曲が四十、五十年前の歌で、その時代にタイムスリップしたかのようでした。延々五時間の忘年会もお開きになり、また来年再会を約束して散会となりました。



（48年卒）川島（45年卒）島（43年卒）保（45年卒）左から大重宮久保、略称、卒年、敬称、写真、真田場部大場東藤

## 菅野道三先生 突然の訃報 並びに卒寿祝会中止報告



硬式テニス部OB  
（昭和五十一年卒）  
長谷川 広之

先日（平成二十六年四月二十一日）

朝、向丘高等学校硬式テニス部OB昭和四十三年卒菅野先輩より連絡を受け、菅野先生のご長男様に連絡を取ったところ、菅野先生が十八日に永眠されたとの報告を受けました。

先生の日記の最後のページには、「秋のテニス部 OB・OG会（卒寿祝いの会）でたくさんのOB・OG達にお会いできることをたいへん楽しみにしている」と書かれていたそうです。

お亡くなりになる一週間前に肺の痛みを感じ、自ら救急車を呼ばれ入院、一週間後に心不全で亡くされました。入院した当初は痛みもあったそうですが、最後は安らかに天国へ召されたそうです。葬儀は十九日に、先生の生前からの意向で、ご親族だけで、済まされたとの事でした。

私（長谷川）は転勤で金沢に十二年、長野に二年赴任しておりましたが、毎年千葉県白子テニスコートで所属グループ会社のテニスの試合があり、その都度先生の家（コートからタクシーで五分）に顔を出し、元気に酒を飲みながら楽しく話したものでした。三年前に東京へ戻ってきて、先生の元気なうちにみんなで集まって、昔話で盛り上がるOB会を開催できた良いなと思っておりましたが、なかなか実行に移せませんでした。

年賀状で今年、先生が卒寿になることを知り、早速千葉まで逢いに行き、卒寿祝の会ならびにテニス部OB・OGの皆様

にも本当に申し訳なく、無念の思いでいっばいです。

よって、秋の卒寿祝いの会・テニス部OB・OG会は中止させていただきます。

先生は、高校から硬式テニスを始めてまだまだ初心者であり上手くなかった私に対し、高一の夏合宿の時、「お前にはセンスがある。絶対にうまくなるからガンバレ！」と言って励ましてくれました。その言葉を信じて大学にいつてもテニスをやり続け、関東理工科系大学テニス大会では準優勝でき、社会人になり練馬区で優勝して、東京都大会団体戦で優勝し、都代表として全国大会出場し準優勝しました。四十五歳過ぎても石川県大会で優勝し、全国大会に県代表として、三年連続して出場できるまでになりました。あの先生の一言がどれだけ私の人生の励ましと自信の言葉になったかは計り知れません。

たくさんの教え子に夢や希望を与えました、テニスやバスケの楽しさを教えそして五十歳半ばから、週末ごとに千葉へ通い、自らの手でゴツゴツと家（自宅）を作り上げ、庭には畑まで作りお亡くなりになる直前までスポーツや音楽（ギター）や読書を楽しんでこられた菅野先生の生き方に、男のロマンや美学を感じます。「ありがとう」ございました。菅野道三先生、皆様でご冥福をお祈りしたいと思います。合 掌



## 「全国大会」



昭和四十年卒  
杉浦 重治

昨年の「やよい」投稿記事では誤植により四箇所意味不明があったことお詫びいたします。

さて、全国大会を毎年各地で行ってますが、これまで同期・クラスメイトとの出会いが三回ありました。平成十八年新潟大会で、小山（旧姓吉田）ゆき子さん、二十五年千葉大会で石田（旧姓村田）美智子さん、二十六年高崎大会で新谷（旧姓小澤）重子さんの三人です。新潟では懇親会の後、市内見物の案内をしていたただ僅かな時間ではあったが良き時間を過ごせました。石田さんは同窓会に出席されたこともあり、現在、水彩画をやっており、東京池袋の芸術劇場での展示会や二十六年十月上野の東京都美術館に出席応募展示と活躍されています。

二十六年の高崎大会、現地に着くまで現地参加者一名としか分からず、式次第をみても何年卒業か記載がないし式を始める頃になって四十年卒だと聞かされ、ご本人が見えて旧姓を聞き、オオトといった具合。私にとって二番の思い出は一年生の頃クラスの男女数名で大菩薩峠へ行ったとき、雷岩のところまで彼女（達？）が長い休憩を取ったこと。登山途中ではじめて雲海を見たこと。この景色を見たことが山登りをする原点となりました。

懇親会での話の中で、高校時代の友人数名と女子会（？）を続けていると聞きました。同期の人達もいろいろな

かたちで長年旧交を温めていること  
と思います。同窓会を一次会の集場所  
にご利用してみたいかがでしょうか？

源さん先生を偲んで



昭和四十一年卒  
尾道 郁代  
(旧姓大橋)

十一月十五日四十二年卒の同期会が  
開催されました。二年に一度の開催も  
十回目となります。お世話役の谷嶋二  
三男さんのお陰と感謝しています。

いつも恩師の齊藤源三郎先生は出席  
して下さるので案内を出したところ  
二月に亡くなっているとのご連絡を興  
味からいただきました。同期会開催ま  
では詳細がわからず、お悔やみの手  
紙を差し上げたところ奥様から手紙を  
亡くなる一年前に「帰国生の高校受け  
入れを促進してきた教育体験記」を出  
版していたとのことで送られてしまし  
た。先生のご病氣は間質性肺炎であっ  
た五日間の入院で二月十七日七十九歳  
で永眠しました。

二年前の同期会でお目にかかった時  
は、少し足が不自由になつてはあり  
ましたが元氣にお話できたことが思い  
出されます。

私達在校中先生は独身でした。三年  
の春修学旅行の時鎮痛剤の乱用で体調  
をくずした私を看病して下さいました  
看護婦さんと卒業後結婚なさったこ  
とを後に知りました。

ご縁の深かった先生の訃報を聞き心  
からご冥福をお祈りします。

尚、先生の著書をお読みになりたい  
方はご連絡いただければお送りしま  
す。  
友は、永遠に私達の心の中に



昭和四十四年卒  
戸部 実

佐藤義隆さん四十四年卒、  
坂 智行さん四十六年卒を悼む。

私は昭和四十一年に高校に入学し  
ぐにテニス部にはいりました。動機は  
中学からテニスをやっていたからでし  
た。

初日の練習で散々走らされた後スク  
ワットの最中に貧血を起こしてしゃが  
みこみダウン。

その当時テニスコートは正式なもの  
は一面しかなくあとは木造二階建校舎  
の前に空きスペースがあるだけでした。  
一年生の練習は入部から一ヶ月はボー  
ルを打たせて貰えずコート整備、球拾  
い、声出し、素振りでした。ボールを  
実際に打たせて貰えるようになって前  
衛となり、初めてボールの練習をさせ  
られました。私のペアの後衛は長距離  
走が得意で並外れた体力と気力の持主  
で、同じクラスの佐藤義隆君でした。

試合で私がサイドを抜かれても苦も  
無くボールを相手コートに返してくれ  
て何度も助けて貰いました。試合で負  
は後衛でしたので私のペアの佐藤義隆  
君に教えて貰う事も多く卒業後も親し  
くしております。

部長だった岡村さんは残念ながら二  
十九歳で急逝され静岡の墓に埋葬され  
ました。毎年四月には岡村さんの先輩

の高場さん、同期の森松さん、豊野さ  
ん、佐藤義隆君の中学の後輩、今は北  
斗市で農業に従事している大塚君、坂  
君のペア大場君、二人の後輩の川島君  
等で墓参りをしています。

墓参りですから供養が目的ですが酒  
麻雀もこのメンバーであるが故、当然  
付き物になります。  
今から四年前の墓参りの日、酒が決  
して嫌いではない坂君の顔色が優れず  
酒の量も進まなかったのですが、翌日  
には入院することになり数週間後には  
帰らぬ人となってしまいました。

坂君の病状を聞いた佐藤義隆君は、  
癌で六年間の闘病中でしたが、病院に  
駆けつけましたが集中治療室に入れず  
会う事は出来ませんでした。坂君の死  
は自分のことのように辛かったとの事  
でした。それから二年後にあの並外れ  
た体力と気力の持ち主であった佐藤君  
も他界しました。

昨年は私の初のボレー練習で球出し  
をしてくれた田中さんも他界されまし  
た。長い年月の間に先輩、同輩、後輩  
に永遠に会えなくなることが多くなっ  
てきました。人には出合いがあり、別  
れがあることは理解してはいますが、  
先に旅立った方々の思い出を私達の心  
の中に生かし続けていきたいと思いま  
す。

毎日の言葉

昭和三十六年卒  
田中 正明

毎年のことですが、年末・年始の新  
聞やテレビで、一年間の世相を現わし  
た漢字、新しい年に寄せる期待や希望  
を込めた漢字の話題が取り上げられ、  
この時期の風物詩ともなっています。

漢字から一歩進め、言葉に留意して  
みたいと思います。日本民俗学の創始  
者である柳田國男は、生涯を通して  
「日本人とは」と問い続けました。多  
くの人が持ち伝えて来た、生活・文化・  
信仰・言葉などの民俗事象を手掛り  
として、その歴史や思想を明らかにす  
るよう努め、成果は折々に講演や著作  
として世に送られました。『毎日の言  
葉』(昭和三十一年に増補され『新版  
毎日の言葉』と改められました)とい  
う本があります。終戦直後の昭和二十  
一年に創元選書の一冊として公刊され、  
その後も角川書店・新潮社・教育出版  
などから刊行され、長く読み継がれて  
きた書物です。毎日何気なく使ってい  
る言葉の歴史を辿り、併せて言葉が果  
たす役割などに言及したもので、その  
中に「あいさつの言葉」があります。

冒頭の箇所を引用します。「挨拶は  
禅僧が支那から輸入した近世の漢語で、  
挨拶は押す、拶は押しかえず、元は単に  
受け答えという心持しか無く、礼儀の  
感じは含んで居なかつたようです。そ  
の語が今日婦人年よりの間まで普及し  
て、日本特殊の意味をもつに至つたの  
は、多分は我々ばかりの受ける語音の  
響きが、愛や尊敬などと似通つて、好  
ましい印象を与えたからでありまし  
う」

続けて、古い時代の挨拶の用法や各



地の用例が数多く掲げられています。挨拶“という言葉は近世期に至って成立したとのことですが読了後、言葉の成立を俟つまでもなくその実態と行為はそれ以前からあり、用法(言葉の使い方)は時間(時刻)や場所によって多様で且つある種の約束事があった更けにそのいとなみは日々の生活で潤滑油の役割を果たしていた、などの指摘に触れ改めて理解を深めることができたのです。『新版毎日の言葉』には、「ありがとう」など個別の言葉も収載されています。柳田國男は「緒言」の中で、「どうして今あるこれらの言葉が出来たかという疑いを、抱く人があるものとしてこの話をしてみます」と執筆の動機を記していますが、これらの言葉と行為について、一考してみても感慨深いのではないのでしょうか。

「私達がみなで、小さい礼儀作法に気をつけたら、この人生はもっと暮らしやすくなる」(チャャリー・チャップリン)「挨拶とはなにか? それを心を開いて相手に迫ることである」(鈴木健二)。含蓄のある言葉だと思っています。

同期の皆様へ



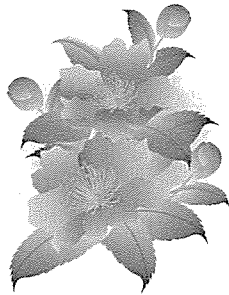
昭和六十一年卒  
今井 美代子  
(旧姓清水)

同期の皆様、お元気でいらつしやいますか? 私は一昨年の八月に永年勤めた会社を退職し、今は派遣社員で和氣あいあいと働いております。近況ですが、小学校や中学校の同期

会は四十代前半の頃から毎年決まった時期に開催されてますが、高校となる通学範囲が広がるせい、同期会どころか私のいた三年二組のクラス会は卒業後一度も開かれていません。同期生は勿論、同じクラスの消息不明者があまりにも多いです。それでも住所の分かる人には毎年年賀状を出していますが、なかなか返事が来ず、何通かは住所不明で戻って来てしまいます。その中で一人の人は一度も同じクラスにはなりませんでしたが、メールアドレスの交換に成功し、個人的にお互いの都合が合えば一緒に食事したりしています。

我々の年代だと仕事が忙しかったり子供が小さい人は子育てが大変な方もいらつしやるかも知れません。まずはお互いのメールアドレスを交換し、メールでお互いの近況を交換できる仲間になりたいと思っています。それで同期会を開催して欲しいという声が多くなれば同期会を開催したいです。同期の方は、本会報「やよい」の最終頁「役員一覧」に連絡先が記載されていますし、メールアドレス及び携帯の番号を書いておきますので、是非とも連絡下さい。

Eメール: NQ138767@nifty.com  
電話: 090-4378-9196



向丘軟式庭球部とスポーツ生理



昭和四十一年卒  
谷嶋 二三男

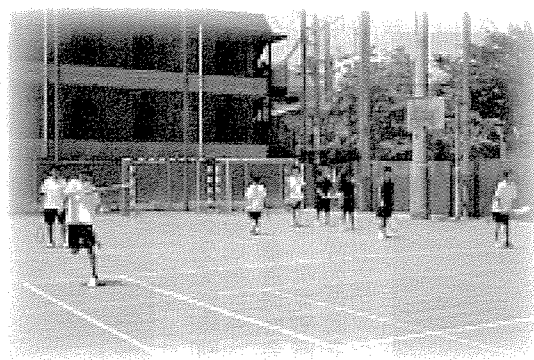
今年も、同窓会と一緒にOB会(向庭会)を、開かせてもらいます。参加者も増えてきておりますので、ぜひご都合をつけていただき、ご参加いただければと思います。申し込み方法は同窓会と同じです。

高齢になるとますます、教育と教養があることが大事だと、ある大学の先生が述べていました。教育と教養ではなく、今日行く、所と、今日用、があることが大事だということでした。私は、これに介護に参加することが大事だと付け加えました。介護ではなく、会合、に参加することが大事だということ、会合に参加する用を作り、実際に行き、多くの人と接することが、元気に暮らすことに役立つこと、という。人に会うことが面倒に感じてきていますが、頑張つて同窓会に参加しましょう。

さて、軟式庭球部に所属していた、高校時代、階段や廊下を歩くと、きしきしと音のする校舎の横に、ネットは張つてあるが凹凸な舗装されていないテニスコートがありました。昼休みはもとより、休み時間になると飛び出して学生服のままテニスをしていたものです。

当時の練習では、炎天下でも水を飲むとばてると言われたり、ウサギ跳びをトレーニングとして用いたりしていました。また、何かの罰で、連帯責任、

と称し砂利石の上に三十分間正座させられた記憶があります。現在では、問題になることもあつたと思いますが、それなりに効果もあつたようです。水分はこまめに摂取することは常識ですが、これは、いっつきに摂取すると血液が薄



められすぎ、濃度を戻すため、汗や尿として水分が排出されてしまうので、効率の悪い水分摂取になってしまうからです。高校時代に水分摂取を控えて訓練されてきた我々は、最近の学生より脱水に耐えられる身体になっている利点もあります。しかし、夏場、おいしいビールを飲みたくて、水分摂取を抑えて運動する方がおります。また、減量のため、水分摂取を極端に控える方もおります。季節にかかわらず、長時間排尿を行わないと、尿道の奥へと細菌が侵入しやすくなり、急性の前立腺炎を引き起こす場合もあります。排尿が行われれば細菌も一緒に排出されるので、適切な水分摂取は必要なこと

です。  
 ウサギ跳びは行うことがないと思  
 いますが、ウサギ跳びに耐えられて来た  
 我々は、下肢が丈夫になりました。耐  
 えられず障害を起こした方も多くな  
 ったことから、行われなくなりました。  
 しかし、トレーニング方法としては、  
 非常に効果の高い方法でした。筋(大  
 腿四頭筋)を一回引伸ばしてから収縮  
 させる方法であり、現在では、似た方  
 法でプライオメトリックトレーニング  
 があります(もう古いですが)。ただ  
 単純にジャンプするより、適当な高さ  
 から飛びおりた反動を利用してジャン  
 プする方法です。カールイスなどが  
 行っていました。自分の体重の二倍  
 の物を持ち上げることのできる筋力  
 がないと、膝を痛めることになりま  
 す。  
 ウサギ跳びは現在では、一部のプロレ  
 ベルの競技選手で行われていますが、  
 一般的には当然行われておりません。  
 スポーツ栄養に関しては、当時全く  
 指導がありませんでした。現在では、  
 クラブ活動では、指導できる方が、多  
 くなってきていると思います。しかし、  
 一般の方のスポーツ栄養に関して知識  
 が、まったくないことに戸惑いを感じ  
 ております。確かに、理解するには、  
 基礎知識が必要ですので、簡単にはい  
 きませんが、特に若い方は理解してお  
 いてもらいたいなと思う、今日この頃  
 です。



### 馬の上から

昭和四十七年卒  
 佐々木 郁子  
 (旧姓 遠野)

今年新たに乗馬を始めた。午年生ま  
 れだからと言う訳ではないが、以前か  
 らたてがみをなびかせて走る馬の姿が  
 好きだった。半年たつてようやく四級  
 に合格した。まだまだ馬に乗せて戴い  
 ている段階だが、馬の上から見る景色  
 は視点が高いだけに広げて気分がよい。  
 重心を正しく乗らないと馬は動いてく  
 れないので、姿勢はよくなるし、上下  
 に体が揺れるせいか乗馬の後は食欲が  
 なく、おかげで念願のダイエットにも  
 成功しそうだ。馬の背中にブラシをか  
 けると、短い馬毛が金色に輝いて見え  
 る。私を乗せて汗をかいた背中を拭く  
 と、振り向いて手をなめてくる。生き  
 物のぬくもりがうれしい。今日はどの  
 馬に乗れるのかとわくわくしながら馬  
 場に通う。冬は馬も冬毛になり、なで  
 ると指が埋まるくらい長くなる。全体  
 にモサモサとして、それがまた可愛い。  
 障害には興味がない。ただ駆け走る馬  
 になりたくて長く乗っていられるよう  
 願っている。



### 全国大会(高崎大会)報告

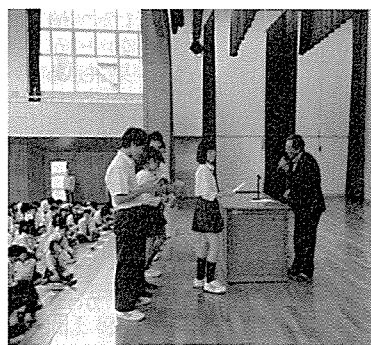
高崎大会は、二十六年五月二十五日(日)  
 高崎市内のホテルで開催いたしました。  
 当日は、同窓会幹事十名、群馬県在住  
 一名、計十一名で開催されました。参加  
 者が少なく、寂しかったのですが、交流  
 を深めることが出来ました。有難うござ  
 いました。(群馬県在住の方に呼び掛けの  
 ハガキを出しました)学校と同窓会の近  
 況報告をし、それぞれの方から自己紹介  
 と近況報告をしました。  
 参加者の皆様には、今後とも同窓会へ  
 のお願いします。  
 今年は、山梨県甲府市で開催いたしま  
 すので、山梨県在住の方は、ご参加をお  
 願いします。



### その他報告事項

①学校との共催で、在校生への進路講演会  
 粕谷卓志さん(昭和四十五年卒)  
 ご本人の高校時代とその後の新聞記者・  
 新聞社時代、テレビ局の経験を報告し「目  
 標を持ち、努力し続ければ必ず実現する」  
 旨の講演をされました。  
 生徒の皆さんは、熱心に聴いていました。  
 (講演者募集、自薦・他薦大歓迎)

②同窓会より、活躍したクラブに奨励金  
 支給  
 女子バレー部、剣道部、華道同好会、  
 茶道部、卓球部、ダンス部、吹奏楽部そ  
 れぞれに一学期の終業式に宮久保同窓会  
 会長より、渡しました。





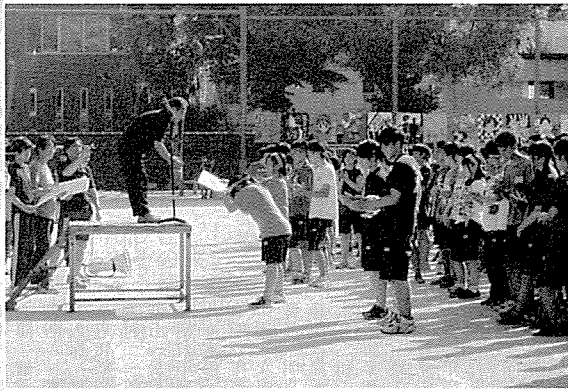
# 体育祭



ムカデ競争



棒倒し

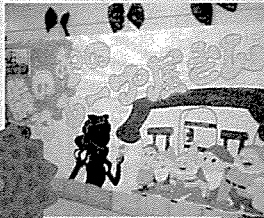


(PTA会誌より転載)

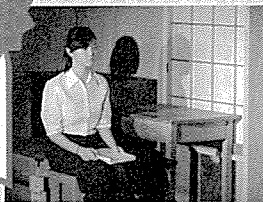
## 向陵祭

### 2-7 森の中のクレープ屋さん

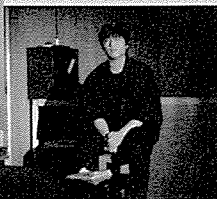
大変だったけど  
楽しかった



来てくれた皆さん、  
ありがとうございました。



### 演劇部

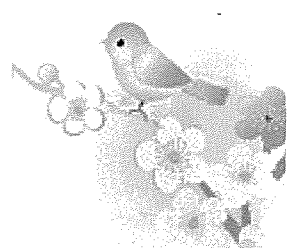
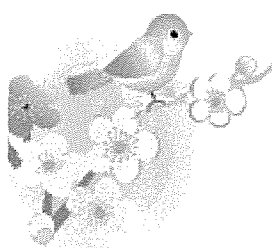


### ダンス部

MGDC77  
(向丘ダンスクラブ)

# 寄付者・会費納入者一覧

平成26年度中に寄付金・年会費をお振込頂いた方々です。(敬称略)  
尚、3,000円以上の納入は寄付者扱いとして掲載させて頂きました。  
ご協力誠にありがとうございました。有効に活用させていただきます。  
尚、記載漏れがありましたらご連絡下さい。(27年1月20日)



### 寄付者名一覧

- ◆旧職員・職員
- 池永 武昭
- 石井 隆夫
- 板井 哲夫
- 北村 哲生
- 北村 透
- 新城 昇
- 関根 茂
- 戸谷 賢司
- 前荻 久男
- 神能 精一
- 杉本 明子
- ◆昭24年卒
- 杉本 カヅ(杉本)
- ◆昭25年卒
- 浅見 富佐(小神)
- ◆昭25年卒
- 多田喜久子(福田)
- ◆昭27年卒
- 木村 弘子(川島)
- ◆昭28年卒
- 小口トシ子(飯塚)
- 霜田 恒彰
- 中西多恵子(山田)
- 早船セツ子
- ◆昭29年卒
- 工藤 和子(鷹島)
- 佐武 和代(芝)
- 鈴木 重雄
- 瀬沼 勝
- 平野 秀夫
- ◆昭30年卒
- 久野 裕
- 田淵 治子
- 中村 泰子(河野)
- 松田 永子
- ◆昭31年卒
- 小川 力洋
- 川端 春生(三橋)
- 木村 隆
- 高尾 和子(杉本)
- 高橋 元彰
- 沼田 敬二
- 増子 明美(若生)
- 三田 昌男
- ◆昭32年卒
- 櫻井 英夫
- 弘清

- 竹内 麗子(鷺田)
- 津坂 敏子(石神)
- ◆昭33年卒
- 西村 哲郎(小寺)
- ◆昭34年卒
- 小林 徹
- 立花 玲子(古川)
- 永田 正博
- 山村 正紀
- ◆昭35年卒
- 五十嵐光俊
- 友部 雄南
- 友部 佳子(立川)
- 能州 良彦
- ◆昭36年卒
- 岩井 和子(大野)
- 遠藤 泰紀
- 田中 正明
- ◆昭37年卒
- 勝部 邦彦
- 寺村 光司
- 宮下紀恵子
- ◆昭38年卒
- 伊藤 孝子(藤井)
- 小野 勲
- ◆昭39年卒
- 河北 迪子(浅沼)
- 湯浅美保子(奈良)
- ◆昭40年卒
- 井上 芳子
- 海和 秀男
- 小林 陽二
- 小山由記子(吉田)
- 杉浦 重治
- 橋 明
- ◆昭41年卒
- 尾道 郁代(大橋)
- 長谷川三枝子(原)
- 原 淑子(近藤)
- 溝口 進一
- 吉田 恵子
- ◆昭42年卒
- 唐木 千暁
- 高野 一義
- 米谷 省吾
- ◆昭43年卒
- 榎本 裕子(高橋)
- 鈴木 幹夫
- 中村 良憲

### 会費納入者名一覧

- 山邊 光久
- ◆昭45年卒
- 昭45卒同期会
- 金澤 信子
- 仙谷 剛
- 宮久保 渡
- ◆昭46年卒
- 恩村 一郎
- 笹山 幸子
- ◆昭47年卒
- 佐々木郁子(遠野)
- 川辺 次郎
- 齊藤 明良
- 藤原 節子(酒井)
- 本多 和子(国分)
- ◆昭49年卒
- 今出 隆久
- 小谷賀津子(岡本)
- ◆昭51年卒
- 萩谷 忠
- ◆昭55年卒
- 新井 清一
- 佐藤 毅
- ◆昭57年卒
- 高木 康孝
- ◆昭58年卒
- 旗野 敏弘
- ◆昭59年卒
- 千田二仁江(樋口)
- ◆昭60年卒
- 酒井 孝江(渡辺)
- ◆昭61年卒
- 今井美代子(清水)
- ◆昭63年卒
- 目黒 利枝(菊池)
- ◆平元年卒
- 横山 信夫
- ◆平4年卒
- 武居 徳文
- ◆平5年卒
- 高橋 康隆
- ◆平10年卒
- 高橋 美法
- ◆平22年卒
- 高崎さつき
- ◆昭24年卒
- 井上 早苗(阿部)
- 高木 芳江(高木)

- 永井 節子(小籠)
- 堀田 恵津(山田)
- ◆昭27年卒
- 太田 きよ(太田)
- 児玉 恵子(児玉)
- 酒井美代子
- 瀬戸口弘子(馬場)
- 高橋 清子
- 芳賀 卓三
- 長谷川千代(中沢)
- 舟橋 和子(荒川)
- ◆昭28年卒
- 有田由紀子(慶田)
- 岩松 英子(塚田)
- 内山 昴子(豊田)
- 大野 玉枝(福田)
- 川井恵美子(酒井)
- 黒川 滋洋
- 小林 裕子(足立)
- 澤谷 裕子(角田)
- 鈴木 梅代(山本)
- 竹内佐代子
- ◆昭29年卒
- 佐々木佑介
- 鈴木 禎子(山崎)
- 高野 芳子(金安)
- 星 直正
- 三輪 良枝(薄井)
- ◆昭30年卒
- 大竹 行子(吉葉)
- 榎 妙子(佐藤)
- 中川 貴子(山崎)
- 長縄 信孝
- 平山 惠章
- 前田 信子(山本)
- 安河内 恵美子(鷹見)
- 山田 順一
- 若木 康孝
- ◆昭31年卒
- 池野 通(高橋)
- 磯山 彰
- 居村 正久
- 柏 やよい(保田)
- 佐藤佐江子(森)
- 鈴木やす代(瀧美)
- 二瓶恵美子(佐拔)
- 姫野千代子(近藤)
- 深瀬 恒矣
- 松居 晃
- 山田 和子(釘宮)

- ◆昭32年卒
- 大津 紀男
- 木村 恵子(佐藤)
- 小西 圭子(城)
- 佐藤 元是
- 滝沢 都子(吉田)
- 中島 雅子(大久保)
- 春川 園子(勢)
- 藤沢寿美子(竹内)
- ◆昭33年卒
- 小林 清明
- 中河 健男
- ◆昭34年卒
- 植山榮次郎
- 乙部たみ子(新名)
- 栗田 誠吾
- 郡司 茂代
- 藤崎寿美江(岩田)
- 三木 桃子(竹谷)
- 森木 紘子(太田)
- ◆昭35年卒
- 池辺 弥生(星野)
- 大久保圭子(大久保)
- 大高 勝子(関)
- 金子 操子(村瀬)
- 清水 幸明
- 永沢 治子(山本)
- 難波田久子(土井)
- 橋本 寿子(岩本)
- 不破 浩
- 三浦みさ子(江島)
- 山田ひろみ(清水)
- 山本 一智(高橋)
- ◆昭36年卒
- 遠藤 仁美(榎本)
- 奥村 誠
- 寺尾ヒロミ
- 三野 洋子(前原)
- 森 絢子(小沢)
- ◆昭37年卒
- 板谷 勝
- 今村 春江(星)
- 小黒 由明
- 片岡 邦枝
- 鈴木多可子(浅賀)
- 南方 洋子(富田)
- 宝珠山邦子(近藤)
- 茂木 昭雄
- 山口 洋子(上野)
- 渡辺 光寛
- ◆昭38年卒

- 太田 和子(豊田)
- 桜井 昭子(筒山)
- 谷口 昭夫
- 宮澤 博子(興津)
- ◆昭39年卒
- 上野美江子
- 大橋いづ子(会田)
- 北田 照子(大山)
- 能州 慶次
- 藤尾 誠
- 盛岡 治英
- ◆昭40年卒
- 相澤 妙子(戸川)
- 秋山 浩一
- 阿部 裕子(山田)
- 大西 政男
- 佐藤 定子(野沢)
- 澤田 孝子(藤村)
- 清水 猛
- 高橋 重子(小沢)
- 能登 俊光
- ◆昭41年卒
- 井村 忠
- 坂井 右紀
- 杉山 雅之
- 鈴木 正博
- 町田 悦子(藤)
- 三谷アツ子(西)
- 横田代志子(三谷)
- 渡辺 恵美(高田)
- ◆昭42年卒
- 橋川 道雄
- 横山 照良
- 横山 正夫
- 渡辺 幸恵(岩永)
- ◆昭43年卒
- 石川 明枝(石川)
- 加藤 和子(大久保)
- ◆昭44年卒
- 豊野 英正
- 秋谷 実
- 飯野 正則
- 加藤 篤子(内藤)
- 加藤 和子(堤)
- 滝田 茂子
- 戸部 実
- 野沢 史夫
- ◆昭45年卒
- 一倉 康晃

- 粕谷 卓志
- 中村 恵太
- ◆昭46年卒
- 石井 洋子
- 小池 二美(飯島)
- 小宮かよ子(神代)
- 若林美保子(安河内)
- 若山 孝之
- ◆昭47年卒
- 柿沼 好明
- 佐川 海道
- 武田 正敏
- ◆昭48年卒
- 遠藤 清孝
- 小高 智子(池田)
- 柏 英明
- 小林 道子(近藤)
- 須賀 福子(牧野)
- ◆昭49年卒
- 石井徳太郎
- 上野 一成
- 川崎すみ子(白石)
- 川島 清次
- 辻 薫
- 横山久美子
- ◆昭50年卒
- 大西 絹子(田口)
- 梶 友寿
- 黒沢真由美(石川)
- 永井すま子
- ◆昭51年卒
- 長谷川広之
- ◆昭53年卒
- 中沢香代子(近間)
- ◆昭54年卒
- 米山 吉行
- ◆昭55年卒
- 田坂ひとみ
- ◆昭56年卒
- 武智 弘英
- 宮原 里美(鎌木)
- ◆昭58年卒
- 林 英子(熊谷)
- ◆昭59年卒
- 木下 玲子(川井)
- ◆昭60年卒
- 内田 明美(内田)
- ◆平5年卒
- 雨宮 直子

**運営費にご協力をお願い**  
会活動活性化に向け、ご提案・ご寄付・年会費等  
のお振込みを、ご協力お願い申し上げます。

- ◆平11年卒
- 吉田 宗弘
- ◆平14年卒
- 小林章太郎
- ◆平19年卒
- 青木 竜哉
- ◆平21年卒
- 浅野 悠樹
- ◆平25年卒
- 門馬 真妃

平成 26 年総会資料  
都立向丘高校同窓会

H26 年 4 月 27 日 (日)  
於 駒込磯太郎

《報告事項》

[事業報告]

平成 25 年度分

(H25 年 4 月 1 日～H26 年 3 月 31 日)

1 役員会 (幹事会)

H25 年 4 月 6 日 (土)

会計監査会 3 名参加 於 小川事務所  
5 月 19 日 (日)

幹事会 10 名参加 於 駒込磯太郎  
8 月 24 日 (土)

幹事会兼暑気払い 10 名参加  
於 駒込磯太郎

H25 年 11 月 23 日 (金)

幹事会兼「やよい」編集委員会  
10 名参加 於 駒込磯太郎

2 総会 / 懇親会 於駒込「磯太郎」

H25 年 4 月 21 日 (日) 12:00～12:30  
報告事項・決算、事業計画・予算案、  
役員案すべて、満場一致承認 30 名参  
加 12:30 より懇親会。自己紹介など  
で多いに盛り上がりました。

3 研究活動 (全国大会)

H25 年 6 月 16 日 (日) 千葉県千葉市大  
会 12:00～17 名参加。於ホテルプラ  
ザ 菜の花会報 24 号 8 項参照

9 月 14 日 (土)～15 日 (日)

向陵祭に写真作品を出展 3 名参加。於母  
校 3 階会議室「田中・小川氏」土曜日に

OB・役員参観あり、5 名。日曜日は、  
雨のため中止。

4 ホームページの充実について

①実務打合せ (メンバー 宮久保・仙谷  
・目黒・椎名) 25 年 8 月 20 日、25 年  
11 月 21 日

5 会報関係について

H25 年 11 月 23 日 (土) 会報企画打合せ  
会 10 名参加 於駒込磯太郎

H26 年 2 月 26 日 (水)「やよい」編集委  
員会と校正 宮久保、仙谷参加 於大門  
3 月 6 日 (水) 卒業予行会に配  
布できるよう母校に搬入した。1200  
部 (在校生 750、新入生 250、学校等)

6 渉外関係

H25 年 4 月 9 日 (火) 入学式に宮久保会  
長・小川前会長と田中相談役が参列した。  
於 母校体育館

6 月 21 日 (土) PTA 主催の教職  
員歓迎会 宮久保、仙谷参加於 ホテル  
メトロポリタン飯田橋

11 月 30 日 (土) PTA OB 会主催  
の懇親会 宮久保、小川が参加 上野・  
助川

3 月 11 日 (火) 卒業式準備会に宮  
久保が卒業生に挨拶をした。

H25 年 3 月 12 日 (水) 卒業式に宮久保会  
長と小川前会長、田中相談役が参列した。  
於 母校体育館

H25 年 3 月 12 日 (水) PTA 主催の卒業  
式を祝う会に宮久保会長が参加した。  
於 巣鴨「たむら」

7 振興助成

H25 年 7 月 9 日 女子バレー部の健闘を  
称え、奨励金 2 万円渡す。

8 卒対関係

H26 年 3 月 4 日 (金) 第 64 回卒業生の  
入会者 225 名 (卒業生全員) について、  
入会記念品としての個人用特注印鑑を予  
行日に各組担任先生からお渡しを戴いた。  
[決算報告] 左記のとおり

《審議事項》

[事業計画] 案平成 26 年度分

(H26 年 4 月 1 日～H27 年 3 月 31 日)

1 総会・懇親会開催の件

やよい 24 号 1 頁参照①

H26 年 4 月 27 日 (日)

2 全国大会・やよい会群馬県高崎市大会  
開催の件

やよい 24 号 1 頁参照②

H26 年 5 月 25 日 (日)

3 ホームページの充実

ホームページを充実させるため、努力を  
します。

①同窓生の同期会・クラス会・クラブ O  
B 会など多くの情報を戴き、発信します。

②既発行分の「やよい」の掲載をします。

③卒業写真など、掲載していきます。

4 向陵祭参加とホームカミング開催の件

やよい 24 号 1 頁参照③

向陵祭 H26 年 9 月 13 日 (土)～14 日 (日)

5 同期会・クラス会等への通信費の助成、

各期の住所をお知らせします

同期会開催へ 2 万円を補助。クラス会・  
クラブ O B 会にも補助。報告文を受け取  
り次第、代表幹事の指定口座宛お振込致  
します。会合の集合写真等を添えて宮久  
保会長宛速やかに郵送して下さい。

6 広報誌の発行と発送 (会員相互の意

思の疎通を図るため)

平成 27 年 3 月に「やよい」25 号発行  
の予定 (会員・クラス会・同期会等の適  
切な投稿を歓迎)。原稿締め切りは 1 月  
末とする。

7 新卒業生の入会者に記念品特注印鑑セ

ットを贈呈する。

8 在校生に対する応援事業

クラブ活動などに助成。学校・PTA と  
協力し、OB による在校生への講演会等  
の開催。

9 年会費、寄付金ご協力をお願い

新卒者の入会金の殆どは会報関係に充  
当。

年会費は 1 口 ¥1,000～¥2,000  
程度運営費としてご協賛をお願い致しま  
す。

年会費込み 3000 円以上の送金は寄付金  
扱いと致します。

10 次期定期総会の件

やよい 25 号紙上にて発表予定

[予算] 左記のとおり

平成 25 年度会計報告及び平成 26 年度予算

都立向丘高等学校同窓会  
平成 26 年 3 月 31 日

収入の部	25 年度決算	26 年度予算
	金額	金額
入会金 (225 名)	1,800,000	1,800,000
年会費 (含寄付金)	854,000	800,000
総会懇親会費	58,000	100,000
全国大会費	90,000	100,000
諸会費収入	0	30,000
雑収入	0	0
前年度繰越金	2,774,345	2,827,840
収入合計	¥5,576,345	¥5,657,840

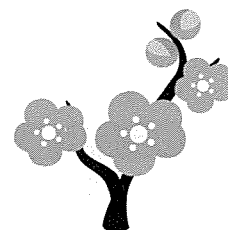
支出の部	25 年度決算	26 年度予算
	金額	金額
全国大会関係費	153,080	150,000
交通費	62,000	100,000
通信印刷費	136,133	100,000
会議費	84,478	150,000
総会懇親会費	86,464	150,000
催物関係費	13,850	50,000
慶弔費	0	100,000
研究活動費	76,230	100,000
振興助成費	80,386	100,000
会報関係費	1,550,000	1,600,000
渉外費	44,400	50,000
開発費	105,266	300,000
生徒激励費	20,000	100,000
卒対費	78,750	100,000
周年準備費	250,000	250,000
雑費	7,468	10,000
支出合計	2,748,505	3,410,000
次年度繰越金	2,827,840	2,247,840
総合計	¥5,576,345	¥5,657,840

周年準備金積立合計 ¥500,000

上記の通り収支報告申し上げます。

平成 26 年 4 月 27 日 同窓会長 宮久保 渡  
会計 尾道 郁代 長谷川 三枝子

監査の結果誤りのないことを認めます。  
平成 26 年 4 月 13 日 監査 櫻井 弘清 寺村 光司



同窓会役員名簿

平成27年(2015)1月20日現在

顧問	新城 昇	歴代校長
"	池永 武昭	"
"	北村 透	"
"	北村 正生	"
"	石井 隆夫	"
"	戸谷 賢司	"
"	前園 実	"
"	関根 茂	"
名誉会長	神能 精一	校長
名誉顧問	小川 力洋	31年卒
会長	宮久保 渡	45年卒
副会長	杉浦 重治	40年卒
副会長兼会計	尾道 郁代(大橋)	41年卒
"	長谷川 三枝子(原)	41年卒
書記	笹山 幸子	46年卒
"	佐々木 郁子(遼野)	47年卒
"	今井 美代子(清水)	61年卒
"	目黒 利枝(菊池)	63年卒
会計監査	三田 昌男	31年卒
"	櫻井 弘清	32年卒
幹事長	仙谷 剛	45年卒
西日本地区幹事	高尾 和子(杉本)	31年卒
新潟地区幹事	小山 由記子(吉田)	40年卒
仙台地区幹事	吉田 恵子	41年卒
静岡地区幹事	増子 明美(若生)	31年卒
茨城地区幹事	友部 佳子(立川)	35年卒
札幌地区幹事	恩村 一朗	46年卒
千葉地区幹事	橘 明	40年卒
事務局	杉渕 明子	副校長
相談役	川端 春生(三橋)	31年卒
"	田中正明	36年卒
"	千田 二仁江(樋口)	59年卒

各期幹事

船橋 和子(荒川)	27年卒	谷嶋二三男	41年卒
澤谷 裕子(角田)	28年卒	福嶋 正雄	42年卒
星 直正	29年卒	野沢 史夫	44年卒
平山 恵章	30年卒	戸部 実	44年卒
居村 正久	31年卒	(minorutoaddress@gmail.com)	
山口 史子	31年卒	一倉 康晃	45年卒
山田 和子	31年卒	粕谷 卓志	45年卒
郡司 茂代	34年卒	大場 孝秋	46年卒
山村 正紀	34年卒	(spw99fy9@key.con.ne.jp)	
友部 佳子(立川)	35年卒	佐川 海道	47年卒
斉藤 博之	35年卒	斉藤 明良	48年卒
井上 芳子	40年卒	浦野良一	55年卒
大西 政男	40年卒	(ru0316@i.softbank.jp)	
島田 敏之	40年卒	浅野 悠樹	61年卒
能登 俊光	40年卒	岩田隆英	H6年卒
坂井 右紀	41年卒	(iwatasana@gmail.com)	
原口 秀子	41年卒		

クラブOB会世話人

軟式テニス部	谷嶋二三男 (41年卒)	f-tanisima@ac.auone_net.jp
テニス部	長谷川広之 (51年卒)	h09089490725@mopera.net
サッカー部	仙谷 剛 (45年卒)	tsuyoshi.senya@gmail.com

計 報

齋藤源三郎	社会科	H26.2
		(享年85歳)
藤本 明美	S25年卒	H26
秋山 稻代(川嶋)	S27年卒	
西正 とみ	S30年卒	H25
長谷川 博	S31年卒	H26.8
		(享年76歳)
梅田 博之	S31年卒	H26.4
		(享年77歳)
金子美津江(高橋)	S41年卒	H26.7
田中 信行	S41年卒	H26.3
佐藤 義隆	S44年卒	H24
坂 智行	S46年卒	H22
松原 茂高	S49年卒	H21

心よりご冥福をお祈り申し上げます。  
ご報告のありました方のみを、お知らせしております。